

臨床研究「手術による摘出が困難な脳腫瘍（主に髄膜腫）に対する陽子線治療の有用性」について

筑波大学附属病院陽子線医学利用研究センターでは、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

摘出術が困難であり、大きさなどから陽子線治療が選択された髄膜腫症例を後ろ向きに検討し、その有用性を明らかにする。

② 研究対象者

1986年2月から2017年12月までに当院で陽子線治療を受けた患者さん

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2020年3月31日まで

④ 研究の方法

治療計画をもとに陽子線治療の有用性を評価し、局所制御率や対象症例の生存解析を行う。

⑤ 試料・情報の項目（具体的に記載すること）

年齢、性別、病歴、症状、腫瘍のサイズと形状、病理学的診断名、手術の有無、陽子線の照射野・線量・回数、照射後の観察期間、有害事象、腫瘍の制御率、予後、生存率。

なお、本研究で取得した情報については、本研究以外では使用しません。論文作成や学会発表の際は、個人情報保護の観点から、個人が識別、特定されるような情報を用いません。

⑥ 試料・情報の第三者への提供について（該当する場合は記載）

予定なし。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

放射線腫瘍科教授 坪井康次

⑧ 研究機関名および研究責任者名

放射線腫瘍科教授 櫻井英幸、放射線腫瘍科准教授 奥村敏之、
放射線腫瘍科講師 水本斉志

⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。す

でに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせの連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：放射線基礎医学研究グループ 担当 坪井康次

TEL：029-853-7100

FAX：029-853-7102

E-mail：tsuboi@pmrc.tsukuba.ac.jp

対応可能時間 「平日9～17時」